

令和 7 年度

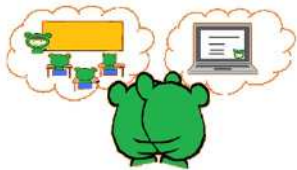
高次脳機能障害 入門講座（前期）のご案内

地域ガエルと申します。
「地域に帰る（地域リハビリテーションの推進）」をモットーにしている、地域リハビリテーション推進センターPR キャクターです！



高次脳機能障害は、脳が損傷することで起こる認知機能の障害です。今までで見られなかった症状が現れ、日常生活や社会生活に様々な困難が生じます。
脳の傷は外からは分かりにくいいため、周囲から障害への理解を得ることが難しいです。

「高次脳機能障害 入門講座」では、高次脳機能障害の症状や対応方法、回復に向けてのポイント、利用できる制度やサービス等について、わかりやすくお伝えします。



会場開催日		オンライン受講期間	テーマ・内容
5 月 16 日（金）	10 時～11 時	開催日から 3 週間	高次脳機能障害とは
6 月 20 日（金）			注意障害・記憶障害・遂行機能障害
7 月 18 日（金）			社会的行動障害
8 月 15 日（金）			失語症
9 月 19 日（金）			就労に向けて

高次脳機能障害のある方やそのご家族、支援者、高次脳機能障害に関心のある方にご参加いただけます。
申込方法など詳細は、「京都市高次脳機能障害者支援センターホームページ」をご覧ください。

○選べる受講スタイル○

会場	オンライン
COCO・てらす （4 階、研修室 1）	YouTube チャンネル限定 公開によりオンデマンド でご試聴いただけます。



ホームページ



申込フォーム

京都市高次脳機能障害者支援センター

☎ 075-925-6256

COCO・てらす A I チャットボットの運用を開始しました！！

市民のみなさまからの COCO・てらすの各施設の利用方法や制度・手続きなどの一般的な問合せに 24 時間 365 日対話形式で回答します。



二次元コード



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。





障害者支援施設の訓練プログラム紹介

昨年1月に“COCO・てらす”の4、5階に移転しました障害者支援施設の訓練プログラムの一部をご紹介します。

ことばグループ

コミュニケーション能力の向上を目指し、失語症や構音障害がある方を対象に言語聴覚士(ST)が小集団で行うプログラムです



どんな内容？



物語などを音読し、共通の話題を元に感想や疑問を話し合います



最近では東京スカイツリー建設物語や、スティーブ・ジョブズの人生などを取り上げました。博学な利用者さんの豆知識を聞いて楽しんだり、難しい内容はお互いに助け合って理解を深めました！

内容

目的

失語症の方と話すことに慣れたスタッフとの会話は問題無くできたのに、集団場面になると途端に周りのペースについていけないということも…。

そこで落ち込んで終わりにならないよう、しっかりSTがサポートします！

- 近況報告
- 前回の確認

- 文章の音読
- クイズ作成・出題・回答

- 感想共有

言語および記憶機能の賦活・向上
発話能力・理解力・注意力向上

音読能力・注意集中力の向上
理解力および構文作成能力向上

社会性向上
会話能力向上



※参加メンバーの能力に合わせて課題は変わります
(過去の内容：4コマ漫画並び替え、川柳づくりなど)



マンツーマンの訓練と比べて、利点はあるの？



たくさんあります！

失語症のグループ訓練は、下記の利点・治療的因子に加え、より高度な注意力や集中力、感情をコントロールする力の向上などが期待できます

この場なら失敗しても大丈夫！と思って挑戦できる！



社会に復帰したら、いつも誰かが自分のペースに合わせて関わってくれるとは限りません

ST によるグループ訓練で自信とスキルを身につけて、社会復帰をしましょう！

※当プログラムのイメージ

家庭・社会

小集団

マンツーマン



失語症グループ訓練の一般的利点・治療的因子



- ① **観察効果** 同じ失語症者が補助スキルを使う様子や、問題に対処する方法など行動のモデルを観察できる
- ② **受容** 互いに尊重し、共感し、温かく受け容れることによって、社会に受け容れられる自信と安定を得る
- ③ **希望** メンバーの成功体験を知り、自分も同じようにできる希望を持つ
- ④ **普遍性** 自分だけが苦労しているのではない、孤独ではないことを知る
- ⑤ **利他主義** メンバーが助け合う行動は、助けた本人の自己評価を高める
- ⑥ **情報の伝達** 様々な情報が集まる場となる
- ⑦ **社会化スキル** 失語症者は補助スキルを使ったコミュニケーションを避ける傾向があるが、心理的安全性が確保されたグループ場面は、対人スキルを学び、実践する機会となりやすい
- ⑧ **昇華** 口に出せない様々な感覚や恐怖心を他のメンバーに理解してもらうことで、これらの感覚から解放される
- ⑨ **凝集性** メンバーが困難な問題に直面した時にグループの援助でその問題を解決することで、グループの凝集性・結束が高まり、社会における他者との信頼関係作りの実践練習となる

※「失語症者の実用コミュニケーション臨床ガイド」より 一部改変



京都市地域リハビリテーション推進センター 障害者支援施設 概要

- ◆ 利用対象者：18 歳以上で高次脳機能障害を有する方
- ◆ 利用定員：入所又は通所での自立訓練（機能訓練 25 名、生活訓練 15 名。うち施設入所支援 20 名。短期入所も行っています。）
- ◆ 利用期間：個々の課題や目標に応じて、機能訓練は最長 1 年 6 か月、生活訓練は最長 2 年
- ◆ お問合せ：京都市高次脳機能障害者支援センター
TEL075-925-6256 FAX075-925-6472

障害者手帳が無い方も
ご利用可能です

地域リハビリテーション推進センターで開催している研修等や取組

当センターでは、障害のある市民の方が、その人らしくいきいきと地域で暮らしていける社会づくりを目指して、障害のある方やそのご家族、地域の支援者等を対象とした研修等、様々な取組を実施しています。

令和7年度の予定についてご紹介します。

1. からだの動きに障害のある方の体力測定会&からだの相談会(春頃予定)

身体障害者手帳をお持ちの方を対象に、体力測定や専門職によるからだの相談会を行っています。



2. 地域リハビリテーション推進研修(6月から1月頃)

支援者を対象に、リハビリテーションに関連する知識及び介護技術等の向上を目的とした研修を行っています。

3. 電動車椅子の講習会(秋頃予定)

電動車椅子の利用者や支援者等を対象に、講習と実技(乗車体験)を行なっています。



4. 地域ガエルのお出かけ講座(関係機関等への研修講師の派遣)(随時)

関係機関や市民の方からの依頼に基づき、専門職を派遣し、研修(15テーマ)を行っています。

5. おはなし広場(第1・2・3水曜日)

失語症のある方々の社会参加を促進するために、コミュニケーションを楽しむ交流の場として開催しています。

6. 高次脳機能障害 入門講座(第3金曜日)

対象は当事者やそのご家族、支援者等です。高次脳機能障害をやさしく学べます。全5回。オンラインあり。

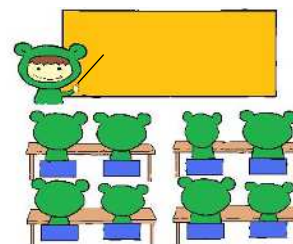
7. 高次脳機能障害 医療機関研修(冬頃予定)

急性期や回復期の医療機関等で、医療やリハビリに携わるスタッフ向けの研修です。



8. よくわかる高次脳機能障害セミナー(3月頃予定)

介護保険サービス事業所が対象です。認知症との関連も解説します。



9. 京都府高次脳機能障害(京都市域)支援ネットワーク会議(秋~冬頃予定)

支援機関のネットワークづくりを目的とした会議です。講話と事例検討を行います。

10. 高次脳機能障害 当事者・家族交流会(第2金曜日)

当事者やそのご家族が、なごやかな雰囲気の中、同じような体験を共有できる交流会を行っています。

11. 複合的課題等に関する支援者向け研修会(夏・冬頃予定)

支援者の方などを対象に複合的課題等に関する研修会を行っています。



★最新の情報は、右の二次元コードからご覧いただけます。

1~5は、地域リハのHPかFB
6~10は、高次脳のHPかFB



地域リハ
ホームページ



地域リハ
Facebook



高次脳
ホームページ



高次脳
Facebook

リハ＊エール36号(令和7年3月発行)
京都市印刷物番号 第065095号
発行:京都市地域リハビリテーション
推進センター
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の20

リハ＊エールに関するご意見、ご感想は
こちらにお寄せください。
E-mail: rehabili@city.kyoto.lg.jp
TEL: 075-925-5736